



電気コード等の取扱いに注意！ 火災になることもあります！



* 電気コードを傷ついた状態で使用したり、引っ張ったりすると、ショートや内部で断線がおり異常発熱や発火の原因となる場合があります。ご注意ください。

ひとこと助言

- 電気コードが家具などの下敷きになっていないか、折れ曲がっていたりドアに挟まっていないかを確認しましょう。
- 電気コードは束ねたり、ねじれたままの状態で使用しないようにしましょう。
- 差し込みプラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜きましょう。
- 差し込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付くと発火する場合があります。定期的に掃除をしましょう。

身の回りで起こる製品事故の時は、

消費生活センター(5604-7055) にご相談ください。